新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和７年度期末）

1　支援の内容及び効果等（１）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ)」

(1)「Ⅰ　地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(2)「Ⅱ　つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(3)「Ⅲ　組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(4)「Ⅳ　区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・コミュニティ回収等の実施・会計処理の支援・協議に関して、まちづくりセンターによるサポートが継続的に行われたことにより、地活協における財源の有効活用や新たな事業の展開がみられる。 ・まちづくりセンターの自主提案でもある「お手伝い体験会」の取組みをすすめたことにより、R７年度においてもお手伝い体験を希望する人が引き続き登場する、また、継続的なスタッフにつながるなど、新たな担い手づくりにつながっている。また、SNSなどのデジタルツールを活用した広報により、地域との連携意向を持つ事業者などの問合せが増加するなどの効果もみられる。 ・まちづくりセンターの丁寧な並走支援により、２地域で補助金申請システムを活用できるようになり、R８年度以降の活用を検討する地域も出現している。 ・地域の担当者への連絡にはセンターLINE 公式アカウントを活用し、また「情報交換会」を実施することにより、各地域の担当者間での情報共有、情報交換がなされ、他地域の好事例を取り込むなど運営の効率化や活動の活性化につながっている。

2　支援の内容及び効果等（２）

評価項目

(1)自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等

(2-1)スーパーバイザー､アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況(実績)及び効果等

(2-2)フォロー(バックアップ)体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等

(3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・自主提案に関しては、「お手伝い体験会」の取組みをすすめ、お手伝い体験を希望する人が引き続き登場する、また、継続的なスタッフにつながるなど、新たな担い手づくりにつながっている。 ・体制及びフォロー（バックアップ）体制に関しては、各地域の自立度・状況に応じた体制が構築されており、地域担当を窓口としながら、全地域に対し担当にかかわらず柔軟に対応がなされており、地活協が安心して支援を受けている。また、市主催の連絡調整会議にも積極的に参加し、他区のまちづくりセンターとの情報共有・連携もできている。 ・区との定期的な打ち合わせ会を実施し、各地域活動協議会の情報や課題を共有することができているため、支援の進め方や進捗状況等の確認、地域との調整事項など随時相談するなど区の方針に沿った支援ができている。

3　区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	・地域や取組内容により自立度に違いはあるが、会計事務と運営委員会などの各種会議については適正な運営ができている。 ・広報活動の支援により、７地域で地域独自の SNS や共同運営フェイスブックに継続的に記事を掲載できている。

4　総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・全体の現状分析により、取り組む支援内容を明確にして地域の実情に応じた支援を行っており、特に、自主財源の活用法、補助金申請システムの操作方法や会計事務、新たな担い手発掘に向けた取組みなど、地域に寄り添った丁寧な支援ができている。 ・全体を通して、地域の情報や課題を把握し、地域の実情に応じた適正な運営の支援ができている。

（評価基準）

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。